議会だより

鳴門市
NARUTO CITY

発行／鳴　門　市　議　会
編集／議　会　広　報　委　員　会
発刊／2021年（令和3年）6月1日
https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/

目　次

令和３年第１回定例会の提出議案と議決結果　②～③
人事案件　③
委員会審査　④～⑥
一般質問　⑦～⑬
新型コロナウイルス感染症対策に関する申し入れ　⑬
令和３年度当初予算・令和２年度補正予算審査　⑭～⑮
令和３年第２回定例会の予定　⑯

ご意見箱を設置しました！！

No.115

《 令和３年 第１回定例会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案　　件	議決結果	所管の委員会
議案第２号	令和３年度鳴門市一般会計予算	原案可決	予算決算
議案第３号	令和３年度鳴門市国民健康保険事業特別会計予算		
議案第４号	令和３年度鳴門市後期高齢者医療特別会計予算		
議案第５号	令和３年度鳴門市介護保険事業特別会計予算		
議案第６号	令和３年度鳴門市光熱水費等支出特別会計予算		
議案第７号	令和３年度鳴門市給与費等管理特別会計予算		
議案第８号	令和３年度鳴門市公債費管理特別会計予算		
議案第９号	令和３年度鳴門市水道事業会計予算		
議案第10号	令和３年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算		
議案第11号	令和３年度鳴門市下水道事業会計予算		
議案第28号	令和２年度鳴門市一般会計補正予算（第７号）		
議案第29号	令和２年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）		
議案第30号	令和２年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）		
議案第31号	令和２年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）		
議案第32号	令和２年度鳴門市給与費等管理特別会計補正予算（第１号）		
議案第33号	令和２年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算（第１号）		
議案第34号	令和２年度鳴門市下水道事業会計補正予算（第１号）		
議案第12号	鳴門市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	原案可決	総務文教
議案第13号	鳴門市事務分掌組織条例の一部改正について		
議案第14号	鳴門市特別職指定条例の一部改正について		
議案第15号	鳴門市道の駅「くるくる　なると」条例の制定について		
議案第16号	鳴門市消防団条例及び鳴門市消防団員の給与及び費用弁償条例の一部改正について		
議案第17号	鳴門市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について		
議案第18号	鳴門市公民館条例の一部改正について		
議案第25号	東部地区広域市町村圏協議会の廃止について		
議案第26号	鳴門市道の駅「くるくる　なると」に係る指定管理者の指定について		
議案第27号	財産の無償譲渡について		
議案第19号	鳴門市環境振興基金条例の制定について	原案可決	生活福祉
議案第20号	鳴門市国民健康保険条例の一部改正について		
議案第21号	鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む基金条例の制定について		
議案第22号	鳴門市介護保険条例の一部改正について		
議案第23号	鳴門市市道の構造の技術的基準及び市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部改正について	原案可決	産業建設
議案第24号	鳴門市森林環境基金条例の制定について		

議案番号	案　　件	議決結果	所管の委員会
発議第１号	鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	継続審査	議員定数審査特別
発議第２号	鳴門市議会会議規則の一部改正について	原案可決	
発議第３号	鳴門市議会委員会条例の一部改正について	原案可決	
発議第４号	鳴門市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	否　　決	
同意第１号	教育長の任命について	同　　意	
同意第２号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同　　意	
諮問第１号	人権擁護委員の推薦について	同　　意	

■発議第４号　鳴門市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

発議第４号は、令和３年４月分から令和３年９月分までの議員報酬を５％減額する改正を行うものでした。

定例会最終日の３月16日に上程され、提案理由の説明、討論の後、採決を行い、賛成者少数により否決されました。

提案理由	【東　正昇】 新型コロナウイルス感染拡大による市民生活や地域経済への影響が長期に及び、市民一人ひとりの生活が一層深刻化している。また、ワクチン接種についてもはっきりとした見通しが立っていない現状であることから、今後も新型コロナウイルス感染症対策については十分な財源の確保が必要である。このことから、令和３年４月分から令和３年９月分までの議員報酬を５％減額し、その減額分を新型コロナウイルス感染症対策事業に活用していただくため、議員報酬を減額する特例措置を提案する。
反対討論	【長濱賢一】 議員報酬の額の正当性を評価するのは市民であるため、市民の代表者で構成される鳴門市特別職報酬等審議会に諮問するべきである。令和３年度の常任委員会の視察の取りやめや政務活動費の使用を６ヵ月分自粛することによる削減額の方が大きい。また、ここ10年間の物価上昇率や経済状況を考慮すると議員報酬の実質的な価値は下がっていると考えられることから、議員報酬を減額する特例措置に反対する。
賛成討論	【宮崎　明】 これまで市では新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組んできたが、現在も安心・安全が見通せる状況にはない。今こそ議員一人ひとりが市民の痛みに寄り添い、市民の声を行政に届けるべきである。常任委員会の視察旅費や政務活動費は使用しなければ返還となり、実質的に議員が身を削ったことにはならないことから、議員報酬を削減し、少しでも多く新型コロナウイルス感染症対策に活用してもらいたいと考え、議員報酬を減額する特例措置に賛成する。

人事案件

●教　　育　　長

三浦（みうら）　克彦（かつひこ）氏（大麻町）

●固定資産評価審査委員会委員

下地（しもち）　茂（しげる）氏（撫養町）

髙田（たかた）　大輔（だいすけ）氏（里浦町）

冨田（とみだ）　崇夫（たかお）氏（大麻町）

仲須（なかず）　眞理（まり）氏（大津町）

原内日出美（はらうちひでみ）氏（北灘町）

樋上（ひかみ）　義彦（よしひこ）氏（瀬戸町）

●人　権　擁　護　委　員

濱野（はまの）　和子（かずこ）氏（撫養町）

総務文教委員会

●議案第15号
鳴門市道の駅「くるくる なると」条例の制定について

●議案第26号
鳴門市道の駅「くるくる なると」に係る指定管理者の指定について

鳴門市道の駅「くるくる　なると」を設置することに伴い、施設の設置及び管理に関する必要事項を定めるとともに、指定管理者を指定するもの。

【質疑】近隣自治体が設置または設置を予定している道の駅との差別化については。

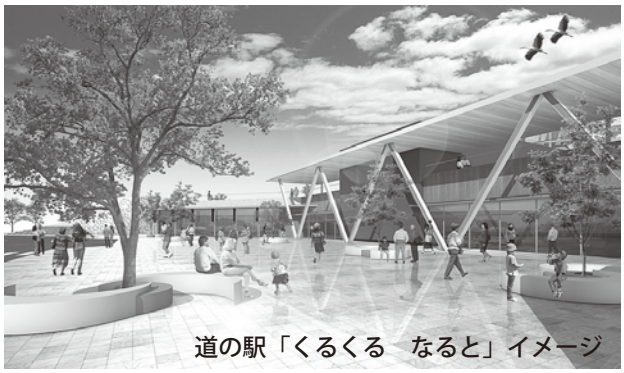
【回答】特徴を持った目的地となれる道の駅を目指し、事前に商品開発などの準備を行っている。

【質疑】他の同規模の施設との指定管理料の額の比較については。

【回答】指定管理料については、全国的にみて、相応の水準である。

【質疑】納付金の額についてはどう考えているのか。

【回答】黒字・赤字に関わらず、施設全体の売上に応じて納付する提案となっている。


道の駅「くるくる　なると」イメージ

生活福祉委員会

●議案第19号
鳴門市環境振興基金条例の制定について

自然環境の改善、環境教育の普及促進などに資するため、新たに基金を設置するもので、東日本大震災以降、再生可能エネルギー発電施設の導入が全国的に進められ、本市でも、市有地や市有施設に太陽光発電施設の設置を進めており、再生エネルギー発電事業者からの寄付金を運用し、環境行政の推進等に資するため制定するもの。

【質疑】事業者からの寄附金の額についてはどのように想定しているのか。

【回答】発電実績にもよるが、年間20万円から40万円を想定している。

【質疑】基金の使い道についてはどのように考えているのか。

【回答】寄附金額が令和3年9月以降に確定することから、令和3年度の補正予算で基金への歳出予算を編成し、令和4年度において、寄附をいただいている事業者の意向をうかがいながら、主に再生可能エネルギー導入の普及啓発のために活用したい。

産業建設委員会

●議案第24号 鳴門市森林環境基金条例の制定について

森林の有する公益的機能の維持増進に資するため、新たに基金を設置するもの。

【質疑】これまでの森林環境譲与税を活用した本市の事業については、林道の維持修繕が多いが、本来の目的からすると人材育成や担い手の確保、木材利用の促進などを進めていくべきではないのか。

【回答】森林環境譲与税を有効に活用する方法として基金を創設し、これを利用することにより、開発とのバランスを保ちながら森林の保全を進めていきたい。

【質疑】森林環境譲与税の使い道については、しっかりと計画を立て進めていってほしい。県とも協力して担い手確保や人材育成を行うべきであると考えるが市の見解は。

【回答】森林所有者に意向調査などを行い、基金も含めて活用について検討していきたい。

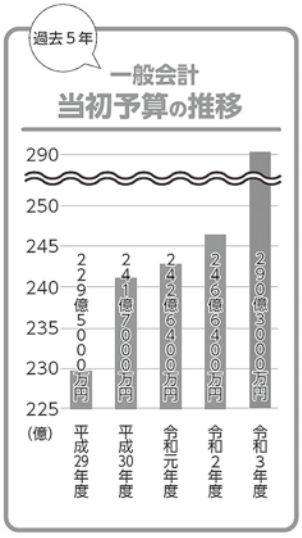
予算決算委員会

●議案第2号 令和3年度鳴門市一般会計予算

令和3年度当初予算は、新庁舎整備事業や道の駅「くるくる　なると」整備事業などの市政発展に資する事業について、引き続き積極的な予算配分を行うとともに、本市の将来をしっかり見据えたまちづくりを着実に推進できる予算となっている。令和3年度の一般会計予算は、総額290億3000万円。対前年度比は、43億6600万円（17・7％）の増加。

【質疑】令和3年度当初予算において、市債の額が令和2年度当初予算や令和元年度決算と比較して、増加した主な要因については。

【回答】令和2年度当初予算と比較し、主に「道の駅くるくる　なると」整備事業にともなうものとして12億7390万円、新庁舎整備事業にともなうものとして3億7940万円、鳴門市・北島町共同浄水場整備事業にともなう、一般会計出資債として4億5440万円、財源不足を補うための臨時財政対策債として5億5000万円がそれぞれ増加している。



議員定数審査特別委員会

●発議第１号
鳴門市議会議員の定数を定める条例の一部改正について

次回の一般選挙から議員定数を２人削減し、鳴門市議会の議員定数を20人とするもの。

【提案理由】鳴門市の人口は、前回議員定数を見直した平成17年当時の約６万４０００人から令和２年12月末には約５万６０００人となり、約８０００人も減少しており、また、鳴門市人口ビジョン２０２０において２０４０年の目標人口は４万５０００人と設定されている。さらに、平成27年時点で人口５万人台の市議会の議員定数の平均は約20人であることなどから、議員定数を現在の22人から20人に減らすことを提案するものであった。

【審査結果】委員会では、市民の声を反映し、分析・検討する必要があるとの意見や、人口だけではなく市域の広さなどについても考慮に入れ引き続き検討したいとの意見があり、委員会では継続審査とすることについて採決した結果、賛成多数により定例会閉会後も継続して審査することとなりました。

令和３年４月１日からの変更について（市議会）

○請願書への押印関係

デジタル化政策の一環として、これまで行政手続などにおいて求めてきた押印について、特段の合理的な理由がある場合を除き、原則としてその廃止を推進している政府の方針から、鳴門市議会においても、議会運営にあたり押印を求めなくても特段支障がない事項については、これを廃止することが適当であるため、請願者に対し提出時に求めている「記名押印」を「署名または記名押印」に改めました。

○議員の欠席届関係

女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備を図る観点から、議員として活動するにあたっての制約要因の解消に資するため、本会議や委員会への欠席事由として育児、看護、介護などを明文化するとともに、出産に伴う欠席についても、産前・産後期間に配慮した内容に改めました。

○総務文教委員会の所管

市長の命を受け組織横断的に行政改革を進める「市長直轄組織」の新設に伴い、総務文教委員会の所管に新たに、「市長直轄組織の所管に属する事項」を追加しました。

＊一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています＊

一般質問

代表質問

❶三津　良裕（会派　創心クラブ）

1. 市長の政治姿勢について
(1) 鳴門市新庁舎整備事業について
(2) 新型コロナウイルス感染症対策事業について
(3) 鳴門市自転車活用推進計画について

2. 助け合い、支え合いの地域づくりについて
(1) 町内会・コミュニティの充実・活性化について
(2) 健康を守る地域の人材確保について

❷東　正昇（会派　潮）

1. 市長の政治姿勢について
(1) 新型コロナウイルス感染症対策について
(2) 新庁舎整備事業について

2. 教育行政について
(1) 公立幼稚園の在り方について

❸松浦　富子（会派　公明党）

1. 市長の政治姿勢について
(1) コロナ禍を克服するためのＳＤＧｓの推進について
(2) 女性の視点での災害・防災対策の推進について

❹宅川　靖次（会派　平成なると）

1. 人口減対策について
(1) 交流人口の増加への取り組みについて
(2) 企業誘致の取り組みについて

2. 新型コロナウイルス感染症対策について
(1) 経済対策について

3. 福祉行政について
(1) ワクチン接種の準備状況について

❺長濱　賢一（会派　青藍）

1. まちづくりについて
(1) 都市計画マスタープランについて
(2) 立地適正化計画について
(3) 中心市街地活性化基本計画について

2. 新型コロナウイルス感染症対策について
(1) 新型コロナウイルスワクチンについて
(2) コロナ禍の経済施策について

3. 人口減少対策について
(1) 不妊治療について
(2) サテライトオフィスについて

❻高麗　裕之（会派　有志会）

1. 地域公共交通について
(1) 黒崎渡船について
(2) 黒崎渡船場の高島桟橋について

2. 新型コロナウイルス感染症対策について
(1) コロナ禍における雇用対策について

会派　創心クラブ
三津（みつ）　良裕（よしひろ）

新庁舎整備事業

問 全体の事業費と今後の事業工程、地震や津波への防災機能は。

答 完成は令和５年11月末、業務開始は令和６年春、現庁舎などの解体や周辺の工事、全体の事業の完了は令和６年度末を想定している。各種の設計業務や解体工事、新庁舎竣工後の備品購入、引越し費用など、全体事業費は総額73億円に収める。

地震対策は免震構造を採用、津波対策は地盤を１ｍ程度嵩上げ、止水板とコンクリート壁を併用する。

来庁者、周辺の市民の指定緊急避難場所として一時避難者５００名程度を想定した避難エリアを設け、電気・給水・排水機能の整備や救助ヘリコプターのホバリングに使用する緊急救助用スペースの整備等を計画している。

新型コロナウイルス感染症対策事業

問 ワクチン接種体制やＰＣＲ検査体制、入院・治療方法の医療体制は。

答 かかりつけの医療機関で接種し、かかりつけ医のない方は市が設置する集団接種会場で接種する体制を整備する。医療体制は「かかりつけ医」や「在宅当番医制度」の初期救急、広域対応の２次救急、高度な対応の３次救急の連携体制で対応する。ＰＣＲ検査等で陽性と判定されれば、保健所の調整で感染症に対応した県内の医療機関に入院し、県が確保した宿泊療養施設へ入所して治療、療養する。

自転車活用推進計画

問 自転車利用における、国道・県道・市道の危険箇所の安全対策は。

答 国道や県道の整備推進は、国や県と協議していく。市道は安心、安全、快適走行の道路環境をめざし、警察などの関係機関と連携し検討する。

要望 ガタガタの市道が補修されて、街路樹はいつも剪定され、足元には雑草のない安全で美しい道路でありますように。

整備された安全なサイクリングロード

＊一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています＊

会派　潮
東（あずま）　正昇（まさのり）

ワクチン接種の現状と今後の進め方

問 新型コロナウイルス感染症に対する本市のワクチン接種の準備状況について、現状と今後の進め方について市の考えは。

答 市では、市民の皆様への接種について、日頃からのかかりつけの医療機関での接種を中心に、かかりつけ医のない方には、今後、市が設置する集団接種会場を組み合わせるという基本方針の下、準備を進めている。

現時点では、ワクチンの供給体制など不確定な部分が多く、今後、接種開始時期や接種できる場所など、市民の皆様に順次お知らせしていきたい。

まちづくりの拠点としての新庁舎建設事業

問 新庁舎建設事業における多目的なエリアの活用について。

答 市民の皆様の行政需要にワンストップ的に対応する観点から、市では、市および国が連携して課題解決することを目的に「国公有財産」の最適利用推進協議会に構成員として参画し、交換会を始めている。市としては、将来のまちづくりを見据えて、市役所周辺を都市機能集積の起爆剤となり得るまちづくりの拠点に位置づけたいと考えている。

公立保育園の再編の在り方

問 公立保育園が閉園となる地域では、存続を希望する保護者が一定数いることから、公私連携施設などの導入も含めた幼稚園教育の場を早期に検討すべきと思うが見解は。

答 再編計画では、子育て支援の充実を図るため、市全体の就学前教育・保育の充実が期待できる場合には、公私連携施設などの導入も含めて検討していきたい。

要望 教育力の充実が、そのまちの魅力を計るとも言われる。「公私連携施設等」の運営が可能な施設については、早急に対応していただきたい。

会派　公明党
松浦（まつうら）　富子（とみこ）

コロナ禍だからこそSDGsの推進を

問 ウイズコロナ時代に持続可能な新しい社会を築くため、なると未来づくり総合戦略2020において、今後どのようにSDGsを推進するのか。

答 各3つの基本目標において、取り組むべきSDGsの目標を位置付けている。基本目標1.「『ひと』を育てる」においては、SDGs目標4.「質の高い教育をみんなに」に該当する事業として、来年度にはコミュニティスクール推進事業にも取り組み、子どもたちの健全育成や学校運営の向上を図っていく。また、SDGs目標5.「ジェンダー平等を実現しよう」に該当する事業として、来年度パートナーシップ宣誓制度導入事業を実施し、性的マイノリティーに関する社会的理解や多様性を尊重する社会を目指し、SDGsの理念に基づきながら積極的に進めていきたい。

防災に女性の視点を

問 防災会議や避難所運営における女性参画の必要性については。また、女性の視点を取り入れた避難所マニュアルの作成や対策本部運営で、女性職員の意見が反映される体制づくりについて市の考えは。

答 防災会議の女性の割合は4・9％と少ない状況だが、条例の範囲内で増やせるよう検討し、避難所運営についても今後は組織強化の観点からも女性の参画を促したい。

現在感染症対策について取りまとめた避難所運営マニュアルの追加を現在作成しており、妊産婦などに対する配慮について記載する。また、年代や職種に応じた意見や考えが集約できるよう、ビジネスチャットなどツールの活用を検討するなど、女性の意見が反映されるよう進めていく。

避難所運営に女性の意見を

＊一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています＊

会派　平成なると
宅川 靖次（たくかわ やすじ）

人口減対策としての交流人口増加への取り組み

問 高速道路を利用した場合の関西からの四国の玄関口である本市の利点を生かした交流人口増加への取り組みと企業誘致の今後の取り組みは。

答 令和4年春に開駅予定の道の駅「くるくる　なると」を交流拠点のハブとして位置づけ、高速道路からの一時退出を可能とする賢い料金制度の導入を目指すことにより、市全域の観光および産業の活性化を図っていく。

また、大都市圏の企業訪問を通じて積極的な情報収集や情報発信を行い、企業を誘致しやすい環境づくりに努めるなど誘致施策の充実を図っていく。

新型コロナウイルス感染症対策

問 家族経営や従業員の少ない中小企業などを対象とする給付金制度の創設について市の考えは。

答 GoToトラベルキャンペーンの一時停止により急激に大きな影響を受けた観光事業者を対象に10万円から最大70万円を給付する観光持続化給付金事業を行っている。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、市内における新型コロナウイルス感染状況や企業の景気動向を注視しながら状況に応じて経済波及効果が大きい消費喚起策や給付金などの経済対策を検討していく。

ワクチン接種体制の状況

問 ワクチン接種体制のうち、優先順位が上位に位置づけられている高齢者への接種のスケジュール等について。

答 接種開始時期や接種できる場所など決定した事項については、市民の皆様に順次お知らせしていくので、本市や国・県から提供される情報にご留意いただき、円滑なワクチンの接種にご協力をお願いしたい。

会派　青藍
長濱 賢一（ながはま けんいち）

市民が主役のまちづくり

問 都市計画マスタープランの見直しや立地適正化計画の策定に合わせたコンパクトシティーの実現のために、地域公共交通計画の策定や市民のまちづくり勉強会、また、まちづくり会社設立の気運の高まりに合わせて市民と共に中心市街地活性化基本計画の見直しを行う必要があるが市の考えは。

答 令和4年度末までに都市計画マスタープランの見直し、立地適正化計画の策定、同時に地域公共交通計画を策定する。中心市街地活性化は、まちづくり勉強会に市も参加し、関係団体と協議して進めていきたい。

にぎわう大道銀天街（昭和45年頃）

新型コロナウイルス感染症対策

問 新型コロナウイルスワクチンの接種方法、接種場所、医療機関との連携等については。また、医療・介護機関や従事者への支援を要望するが市の見解は。

答 かかりつけ医での接種を中心に、市が設置する集団接種会場における接種を組み合わせる。支援については、医療機関の負担の状況に応じて検討する。

人口減少対策　自然増の取組を

問 人口減少対策の改善は、出産による自然動態の増加が最重要で不妊治療助成制度のさらなる拡充を求める。また、本市は鳴門病院への支援を始めるが、本市に手薄な産婦人科や小児科への重点的な支援を要望するが市の見解は。

答 国が令和4年度から不妊治療の保険適用を実施するが、市ではそれまでの間、現行の助成制度を拡充する。鳴門病院への支援は、医療人材の確保の為であり、継続的な支援を行っていく。

＊一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています＊

会派　有志会
高麗（こうらい）　裕之（ひろゆき）

89年経過した高島桟橋の補修・架け替えを

問 黒崎渡船場の高島桟橋が経年劣化している。目視で確認できるほど劣化し、手すりが破損している。耐震性能が確認されていないことや老朽化が進んでいることから、補修、架け替えをしてはどうか。

答 黒崎渡船の利用者数は、令和元年度は約10万人であり、主に買い物や通院、通学に利用されている。高島桟橋は、昭和7年に架けられており、20年程前には、橋脚の補修工事をしたが耐震診断はまだ行っていない。令和元年度に点検し、経年劣化などによる老朽化が確認されている。詳細は調査を実施し、延命化などの対策を講じる。

小鳴門海峡の美しい景色

要望 小鳴門海峡の美しい景色と渡船を守り、補修や架け替えを要望する。

コロナ禍における雇用対策の支援強化を

問 新型コロナウイルスの影響により厳しい雇用情勢となっている。求職者にとっても、就業機会が減少するなど、行政による支援が必要な状況となっている。このような状況を踏まえて、今後どのような取り組みをしていくのか。

答 市では雇用対策として、雇用調整助成金制度を活用し、関係機関と連携し周知に努めた。就職活動が進まない求職者や転職を希望する方を対象にハローワークなどと連携し、就職マッチングフェアを開催した。今後も、関係機関と連携しながら、市独自の雇用対策を講じる。

要望 安定雇用に向けた取り組みを進め、失業者の増加を抑えていただきたい。

個人質問

❶山根　巌

1. 教育行政について
(1) 徳島県立鳴門高等学校の魅力化について
(2) 公私連携施設運営法人について

2. 公共施設等総合管理計画について
(1) 集会所の集約・廃止について

❷平塚　保二

1. 水環境施策について
(1) 公共下水道事業について
(2) 合併処理浄化槽の普及促進について

2. 新型コロナウイルス感染症対策について
(1) 市民から新型コロナウイルス感染症に関する相談等があった場合の市の対応について

❸潮崎　憲司

1. 防災行政について
(1) コロナ禍における災害時の避難所運営について
(2) 災害時の避難情報について
(3) 避難場所における感染症対策の周知について

❹宮崎　明

1. 新型コロナウイルス感染症対策について
(1) 予防接種体制について
(2) 防災行政無線を活用した感染症対策の周知について

2. 空き家・空き地対策について
(1) 空き家対策について
(2) 空き地対策について
(3) 空き家・空き地対策セクションの再編について

3. 消防力の強化について
(1) 大麻分署整備計画の進捗状況について
(2) 消防職員の条例定数の見直しについて
(3) 人材の獲得と採用試験の方法について

❺上田　公司

1. 職員の働き方改革について
(1) 会計年度任用職員について
(2) テレワークについて

2. 新型コロナウイルス感染症の影響について
(1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
(2) 情報の発出について

＊一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています＊

山根 巌（創心クラブ）

鳴門高校の未来像は

問 本市の将来を見据えた特色ある鳴門高校の未来像について、どのように考えているのか。

答 高等学校教育を取り巻く状況の変化を踏まえながら、県教育委員会や鳴門高校、さらには鳴門教育大学と連携し、次代をリードする鳴門高校の特色化、魅力化に向けた取り組みに積極的に協力していく。

公私連携施設運営法人の募集条件の変更の必要性

問 公私連携施設運営法人の募集については、より多くの民間事業者が応募できるように募集要項の中の条件の変更が必要と考えるが、市の考えは。

答 運営意欲を有する法人により多く応募いただき、本市の次代を担う子ども達の多様なニーズに応じた就学前教育、保育サービスを提供できるよう社会の要請を踏まえながら、さらなる検討を行う。

集会所の集約・廃止などの施設整備

問 本市の92か所ある集会所の集約・廃止については、市民の方からいろいろな意見が出されているが、施設整備について市としてどのように考えているのか。

答 集会所の新築に当たっては、市民の皆様に安心・安全にご利用いただくため、ユニバーサルデザインへの対応、省エネルギー化による環境性能の向上など、時代の変化に対応した施設として、利便性、利用価値の高い集会所となるよう、地元の皆様のご意見を伺いながら施設整備に努めていく。

鳴門市共栄集会所

平塚 保二

合併処理浄化槽の普及促進を

問 本市の水環境施策の中で、汚水処理人口普及率向上施策は、下水道事業ありきではなく、人口減少傾向にある本市としては、合併処理浄化槽の普及向上施策が合致していると思われるが市の見解は。

答 汚水処理人口普及率の向上施策について、豊かな水環境を守り将来に伝えていくために、基本的な社会基盤施策である下水道や合併浄化槽の普及促進に取り組んできた。市では、汚水処理施策を実施するにあたり、経済性、地域特性などを踏まえ、地域の集合処理である下水道や個別処理である合併浄化槽整備などを効率的かつ適正に総合的な生活排水対策として実施している。下水道や個別処理である合併浄化槽などを効果的かつ適正に整備するための指針として、人口減少や社会情勢などの変化に応じ、平成29年3月に汚水処理構想を大幅に見直し、県内に先駆けて下水道整備区域を大幅に縮小するとともに合併浄化槽の普及を促進する区域を拡大するなど、社会情勢に応じた見直しを行いながら事業を進めている。また、下水道の推進には今後も人口減少が予測されるなか、健全な経営の実現など課題があると認識しており、市の実情に応じた汚水処理構想を適宜適切に見直しながら効率的に進めたいと考えている。

新型コロナウイルス感染症対策

問 本市の新型コロナウイルス感染症対策は。

答 これまで緊急支援策として、マスクや消毒液の配布、特別定額金の給付、飲食店支援策などの経済対策を実施してきた。今後も感染症の動向や国・県が発信する情報を注視しながら対策を講じていく。

＊一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています＊

潮崎 憲司（青藍）

コロナ禍における避難所運営

問 避難所運営にあたっての感染症対策は。

答 コロナ禍における避難所運営については、まず受付の対応で密にならないように間隔を開け、体調チェックシートを記入していただき、体調が優れない方が確認された場合は、別の動線を通り、健康な方と接触しないスペースへ案内する。受付後の対応としては、例えば、学校への避難であれば、特に体調に問題のない方については体育館に案内し、発熱など体調の優れない方については、校舎内などに区画された専用スペースへ案内することとしている。

今後の訓練の教室利用は

問 感染症対策として、学校の教室を使った訓練は可能か。

答 学校の教室を使用した訓練の実施については、これまで避難所に指定されている体育館などで、地域による避難所の開設などの訓練が実施されている。教室の使用については、施設管理上などの課題があることから、まず現在休校となっている学校を使用した訓練について、今後検討する。

避難所における体調不良者への対応

問 発熱や体調不良者への対応や対策は。

答 避難所において発熱などの体調不良の方への対応を行う場合、避難所に配備しているマスクや消毒液のほか、フェースシールドを使用していただく。今後、個人防護服や飛沫感染防止スクリーン等を配備するなどの対応を行っていく。

宮崎 明

新型コロナウイルス感染症対策

問 ワクチンの予防接種は、実施主体である市町村が県や医師会との協議調整、接種場所の確保、接種券の郵送などの業務を担うことになるが現時点での事務執行体制の課題については。

答 主な課題は、ワクチンの供給量や時期などの詳細計画が未だ示されていないことや接種に携わる医師等の継続・安定的な確保であるが、市民が安心して接種を受けられるように関係機関と連携・協力し対応していきたい。

要望 医師会をはじめ関係者の皆様には多大なご負担をおかけするが、「安全・安心・スムーズ」に接種できるよう万全を期して頂くことをお願いする。

空き家・空き地対策

問 対策の現状と課題および今後の対応策については。また、これらの業務を担当するセクションの一括集約を提言するが市の見解は。

答 令和3年1月末時点で把握している空き家数は約1400戸余りで、そのうち管理不全状態の約400戸に対し指導を行っているが、早期解決が難しい事例が増加しており、課題となっている。これらを踏まえ、次年度に全市的な調査を実施し実態を把握した上で計画的に対応する。空き地に対しては市民からの苦情や要望が増加傾向にあり、地権者に適正管理指導を行った結果、ほぼ全ての人が対処してくれているが、所有者不明土地の指導が課題になっており対応を研究している。空き家・空き地担当セクションの一括集約は市民サービスの向上や業務の効率化・合理化に繋がるので検討する。

早急な空き家の対策を

要望 空き地適正管理の根拠となる条例の制定を提言する。

＊一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています＊

上田 公司（うえだ こうじ）

会計年度任用職員の待遇改善

問 国は、会計年度任用職員の業務について「各地方公共団体において個々の具体的な事例に則して判断するべき」としているが、市は文書等で具体的事例を明確化しているのか。また、前歴加算・昇給限度の制限について強く改善を求めていたが、その制限の根拠は。

答 業務の具体的事例を明確化したものはない。前歴加算・昇給限度については、今年度までの3年を来年度より5年に延長するなど処遇改善を図っている。

食品ロス削減を通じた支援

問 コロナ過において、保護者の収入やアルバイト収入の減少で鳴門教育大学でも困窮している学生がいると聞いている。本市は教育を通じて連携していることから、食品ロス削減を通じた支援や学生との協働による事業を行ってはどうか。

答 大学の学生課などでの相談を通じて、寄附された食品の提供は可能であり、その周知に努めたい。また、今後市の啓発活動などの中で学生や学校と協働できる事業について検討したい。

庁内配置のフードポスト

障がい者支援に関する情報の発出

問 現在、聴覚または音声・言語機能等に障害がある方が自宅にファックスがない場合、119番通報が困難となっている。来年度より緊急通報への対応が24時間365日可能になる「電話リレーサービス」が公共インフラとして始まる。また、遠隔手話サービスも感染予防対策として始まった。市としてこれらサービスについてどう対応するのか。

答 電話リレーサービスや遠隔手話サービスについては、スマートフォンやタブレット端末の利用を前提とした制度であることから、制度の周知はもとより、こうした端末を利用できる方を増やしていくことが必要と考えている。

新型コロナウイルス感染症対策に関する申し入れについて

本市では、新型コロナウイルス感染症対策として様々な対策を講じていますが、長引く感染拡大とそれに伴う各種イベントの中止などにより、本市の経済に確実に深い影響を及ぼしています。

また、本年に入り、本市内でも教育機関や医療機関内でのクラスターの発生に伴い感染者が急増しており、感染収束に向けた見通しは依然として不透明と言わざるを得ない状況にあります。

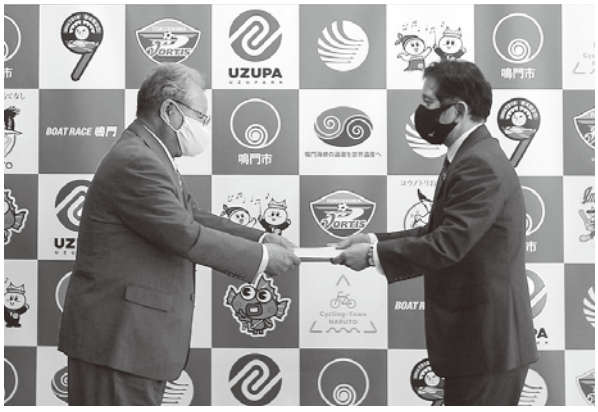
こうしたことから、市議会では現時点での市民生活等の状況を鑑み、今後の新型コロナウイルス感染症対策を進めるにあたり、市長に対して本年度第1回目（通算第5回目）の申入書を提出しました。

1　市内事業者の安定的かつ継続的な経営や雇用の確保等に繋がる支援策を講じられたい。

2　新型コロナウイルス感染症の長期的な感染の影響を受けている子育て世帯や経済的弱者への支援策を講じられたい。

3　事業所内や各種施設等における感染拡大防止対策への支援策を講じられたい。

4　新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に向け、接種日程や副反応等、市民が自主的に判断するために必要となる情報の発信とともに、ワクチン接種を着実に実施されたい。



市の予算の使い道について審査しました

６日間にわたり、予算決算委員会を開催し、令和３年度当初予算・令和２年度補正予算に関する議案17件について審査しました。

（委員会での審査の中で出た意見・要望やそれに対する答え、説明を抜粋したものです。(■質疑　●説明・答え　★意見・要望)
※予算決算委員長報告の全文は、鳴門市議会ウェブサイト⇒「議会審議結果報告」⇒「委員長報告」をご覧ください。）

教育

【教　育】

■学校施設大規模改修事業の改修工事の具体的な内容は。

●各耐震化工事に合わせて洋式トイレを設置した学校以外に給排水設備の改修などを行ってきたが、それ以外の学校においてもおよそ40年以上経過したトイレもあるため、老朽化による建具の劣化が著しいものや臭いの問題があるので、令和２年度以降も年次計画的に給排水設備の改修を含め、洋式化を進めていくもの。

＊　＊　＊

■コミュニティ・スクール推進事業に関して今後の事業の進め方は。

●市教育委員会とモデル校の校長が話し合う「コミュニティスクール準備委員会」を設置しており、そこで協議した内容を校長会の場でフィードバックしていきたい。

＊　＊　＊

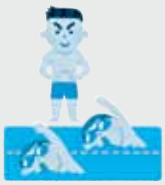
■学校施設大規模改修事業のこれまでの進捗状況は。

●平成28年度から令和元年度まで年次計画的に進めており、小学校７校・中学校１校で改修工事を実施した。

＊　＊　＊

■部活動指導員の報酬と積算根拠については。

●報酬については時給1,600円、通勤手当については通勤距離に応じて支払っている。部活動については、平日は２時間、休日は３時間という基準を設けて運用しており、通年で515時間と設定し、令和３年度は、10人分の予算を計上している。



＊　＊　＊

■大型公民館無線LAN整備事業の対象となる大型公民館はどこか。

●斎田公民館・川東公民館・里浦公民館・鳴門公民館・瀬戸公民館・北灘公民館・大津中央公民館・堀江公民館・板東公民館の９施設である。

福祉・健康

【福　祉】

■生活困窮者自立支援事業の具体的な内容は。

●生活保護に至る前の段階の自立支援の強化を図るため、生活困窮者に対して包括的な支援を行うもの。本市では、自立相談支援事業と住居確保給付事業の２つの必須事業と子どもの学習・生活支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の３つの任意事業を実施している。

現状は、徳島県労働者福祉協議会に業務を委託し、市役所本庁舎１階の鳴門市生活自立相談支援センター「よりそい」に相談支援員が常駐し、生活困窮者への相談支援を行っている。

■新型コロナウイルス感染症の影響による変化については。

●相談件数が増加した。すぐに就労につながりにくい方もいるので、継続して相談させて頂くなど今後も続けていく。

【健　康】

■フレイル予防推進事業の具体的な内容は。

●いきいきサロンなどを中心として、フレイルチェックを行い、フレイルの可能性が高い方には、市が実施している介護予防・生活支援サービスの短期集中Ｃ型に取り組んでいただく事業や高齢者の方にボランティアとして実際に地域で活動していただくフレイルサポーターを養成していく事業、また、フレイルについて市民に周知啓発を図っていくための講演会の実施などを予定している。

＊　＊　＊

■骨髄等移植ドナー助成事業において今後のドナー登録推進等の考え方については。

●骨髄バンクの事業は日本骨髄バンクが国等と連携して行っている事業で、今回の事業については県からの要請があったものであり、今後は県と連携しながら、市民にまず事業について知っていただき、次に登録、それから実際に移植に来ていただくというような形を推進していく。

15ページへつづく

産業

【産　　業】

■企業誘致推進費における令和２年度の実績見込みは。

●令和２年度の実績は、地元事業者の増設が１件となる見込みである。

＊　　＊　　＊

■企業誘致を推進するためのＰＲ方法についてどのように考えているのか。

●産業団地の空きがなく、大規模な土地の確保が難しいことから、サテライトオフィスに焦点を当てて企業誘致を推進し、専用ウェブサイトを作成するなど、積極的な情報発信に努める。

市民生活

【市民生活】

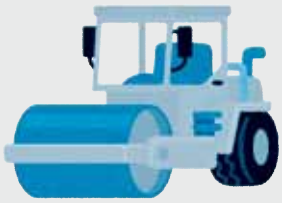
■飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用補助事業の予算額について。

●今年度から20万円増額し、70万円で計上しており、１件あたりの上限額は今年度と同様に１万円であるが、令和３年度は予定件数を70件に増やしている。

＊　　＊　　＊

■道路舗装修繕事業の具体的な内容は。

●従前の道路維持補修工事で実施予定であった舗装補修工事の対象路線のうち、主要または防災上重要な路線を抽出し、対象となる133路線、約130㎞について計画的に舗装修繕を行い、市道の健全化を図っていく。



暮らしを守る

【防　　災】

■ブロック塀等安全対策支援事業の概要は。

●市民の安全と安心の確保を図るため、災害等により倒壊する恐れのあるブロック塀等の撤去及び改善に係る費用の一部を補助するものであり、令和２年度の実績見込みは22戸、平成30年度からの累計実績は53戸である。

【消　　防】

■防火水槽の設置数及び整備方針については。

●防火水槽の設置数は105基であり、新設については予定していないが、年次計画的に修繕等を実施していく。

＊　　＊　　＊

■消防分団への救助用半長靴の配備状況と令和３年度の配備予定は。

●令和元年度より３ヵ年の計画で配備を進めており、令和３年度は瀬戸地区、堀江地区に配備予定であり、これをもって全地区に配備が完了する。

その他

【財　　政】

■令和３年度当初予算において、市債の額が前年度と比較して増加した主な要因は。

●主に、「道の駅くるくる　なると」整備事業にともなうものとして12億7,390万円、新庁舎整備事業にともなうものとして３億7,940万円、鳴門市・北島町共同浄水場整備事業にともなう、一般会計出資債として４億5,440万円、財源不足を補うための臨時財政対策債として５億5,000万円がそれぞれ増加している。

＊　　＊　　＊

■30億円の収益事業収入の使途については。

●「ボートレース鳴門まちづくり基金」に21億円、「健康づくりの推進と地域の医療を守り育む基金」に１億5,000万円をそれぞれ積み立てることとしており、残りの７億5,000万円は令和３年度の一般財源として活用する。

＊　　＊　　＊

■「ボートレース鳴門まちづくり基金」に積み立てる21億円の今後の使途については。

●令和４年度以降の将来を見据えた事業などの財源として活用していく。

ご 意 見 箱

～議会活動に関するご意見を募集しています～

鳴門市議会では、市民の皆様からの議会活動に関する幅広いご意見をいただくため、「鳴門市議会　ご意見箱」を設置しています。

議会活動に関して日頃から感じられていることやお気づきの点がございましたら、お気軽にご提出ください。

【提出方法】

次のいずれかの方法でご提出ください。

①鳴門市議会公式ウェブサイトの「鳴門市議会ご意見箱」ページから「入力フォーム」に必要事項をご入力の上、送信してください。
https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/ikenbako/index.html

②鳴門市役所 本庁舎１階にご意見箱を設置していますので、付属の用紙に必要事項をご記入の上、投函してください。

※ご意見に対する回答はいたしかねますが、個人情報に配慮の上、鳴門市議会公式ウェブサイトなどで紹介させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※個人に対する誹謗・中傷などは、お断りいたします。

本会議や委員会などの傍聴について(お願い)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、しばらくの間、本会議や委員会などの傍聴については、次のとおり傍聴人数を制限させていただいております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

議　　場：６人以内
委員会室：傍聴なし

※本会議の模様は、インターネットによる配信やテレビ鳴門での放送にて、委員会の模様は、インターネットによる配信にて、ご視聴いただけますのでご利用ください。

令和３年第２回定例会の予定（６月７日～25日）

日	月	火	水	木	金	土
6月6日	7 開会／本会議 予算決算委員会 全員協議会	8 一般質問 通告締切	9	10	11	12
13	14 一般質問（代表）	15 一般質問（個人）	16 一般質問（個人） 予算決算委員会	17 総務文教委員会	18 生活福祉委員会	19
20	21 産業建設委員会	22	23	24 議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	25 本会議／閉会	26

■(赤字) はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■(緑字) はインターネット中継を行います

議会を動画で見てみよう！

本会議と委員会の模様は、インターネット中継と録画配信でご覧いただけます。なお、本会議の模様は、テレビ鳴門でも生放送に加え、録画放送を行っています。ぜひご覧ください。

《議会広報委員会》

委 員 長：高麗　裕之
副委員長：宅川　靖次
委　　員：東谷　伸治・宮崎　　明・山根　　巌
　　松浦　富子・潮崎　憲司・秋岡　芳郎
　　上田　公司

■会議録を見てみよう■

次の２つの方法で一般質問などの内容を詳しく確認することができます。

【窓口で見る】

①役所本庁舎３階の議会事務局へお越しください。
②見たい会議録をお伝えください。

【ウェブサイトから見る】

①「鳴門市議会」を検索
②鳴門市議会公式ウェブサイト内の「会議録検索システム」から見たい会議録を検索

URL　https://ssp.kaigiroku.net/tenant/naruto/pg/index.html

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。